

下関市慣行追加制定（案）パブリックコメント実施結果

1. 意見募集期間

平成23年7月1日（金）～7月31日（日）

2. 意見応募状況

意見応募者数：1名

意見件数：1件

3. 意見の要旨とこれに対する市の考え方

番号	意見の要旨	意見に対する市の考え方
1	<p>反対。</p> <p>下関市には捕鯨基地として繁栄した過去があり、馴染み深い動物と言えるが、かつては世界的に捕鯨が行われており、日本国内だけでも数箇所の捕鯨基地がある中で、下関市＝クジラという図式を、市外の人に納得させるだけのものが、今どれだけあるか疑問。</p> <p>近海でクジラが見られるという訳でもなく、捕鯨そのものも今は下火で、以前のような盛況を取り戻す事はない。</p> <p>町を歩いてクジラとのつながりを感じる事は殆どなく、下関とクジラの関係は、すでに過去のものとなりつつある今、加工された鯨肉としてでなく、クジラそのものへの愛着が下関市民にはどれだけあるのか？</p> <p>なにより『利』によってつながる動物を、『利』を求めて「市の動物」に定めようとする姿勢には、違和感を覚える。</p> <p>観光の材料としての目的の為に無理矢理クジラを引っ張り出してはいないか？</p> <p>なぜ、いまクジラを「市の動物」にする必要があるのか。過去の栄光を懐かしむだけでは無いというのであれば、その理由を示してほしい。</p>	<p>近代捕鯨発祥地として、また鯨の流通加工基地として鯨関連産業とともに発展してきた歴史を有する本市は、従来よりクジラと魚類の持続的利用を図る鯨類捕獲調査船団への支援をはじめ、鯨肉給食の復活、海響館におけるシロナガスクジラの骨格標本展示、さらにはIWC（国際捕鯨委員会）下関年次会合の開催や第二十五利丸の係留展示など、くじら文化の情報発信や市民への普及啓発を積極的に行い、「くじらのまち日本一」を目指しております。今回、その取組みの一環として、「市の動物」に「クジラ」を制定しようとするものです。</p> <p>制定については、本パブリックコメント以外にもアンケート調査を行い、また、附属機関である下関市慣行策定委員会を設置し、広く市民の皆様のご意見を伺いながら検討してまいります。</p>